

Sky High

2020/1/8

1 年の計は元旦にあり

2 年生のみなさん、新年明けましておめでとうございます。2 0 2 0 年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本中が盛り上がりを見せる年になりそうです。さて、みなさんはこの新たな年をどのような気持ちで迎えたのでしょうか？

「1 年の計は元旦にあり。」お正月は、今年 1 年間をどのように過ごすのか、きちんと計画を立てる絶好の機会です。今日は冬休み明けの初日です。今年初めて学校に登校してくるとき、みなさんは、元旦に決意した「今年こそ、計画通りにがんばるぞ！」という意気込みを学校へいっしょに持ってきたと思います。

世界中の人たちが新しい年を迎え、新しい気持ちで 2 0 2 0 年のスタートラインについています。それぞれが自分で歩いていく目標をしっかりと持っていないと、どちらの方向に進んでいったよいか分からなくなってしまいます。明確な目標を持って、具体的な計画を立ててほしいと思います。本物の目標は、的確な計画を立てることにつながります。的確な計画は、充実した行動力をもたらします。毎日の実践は、みなさんの目標を着実に実現させてくれます。今まで三日坊主であった人は、今年こそは自分の目標達成のために計画通り最後まで続ける努力をしてください。

2 0 2 0 年は、みなさんにとって進路先や受験校を決定する年です。「初心忘るべからず、時々初心忘るべからず、老いて後、初心忘るべからず。」6 0 0 年前、父とともに能を大成した世阿弥が 5 0 歳半ばに書いた『花鏡』に残している言葉です。世阿弥の言う「初心」は「最初の志」に限らず、人生の中にたびたび訪れる「初心」のことです。能役者は、稚児姿のかわいらしい子ども時代があり、声変わりして苦労する青年時代を経て、2 0 歳半ばで声も落ち着き舞も舞えるようになります。そうすると「天才」などと周りが褒めそやしたりします。しかしそれはその時々の一時的な花に過ぎません。世阿弥はそこが人生の壁だと考えていたのでしょう。この時点がまさに時折訪れる初心なのであって、そんなところでのぼせ上がるのはとんでもないことというわけです。6 0 0 年間もこの言葉が受け継がれている意味をしっかりと考えていきたいものです。

学級の雰囲気之力

遠足、校内競技大会、書き取り大会、Word Cup、修学旅行、生徒企画催事という一連の行事や活動によって一層強くなった各クラスの団結力ですが、冬休み以降、さらに各クラスで築き上げてほしいものがあります。それは、学級の雰囲気です。

今年は受験先を決定したり、推薦・ＡＯ入試を考えている人は入試本番を迎えたりするような年になります。この厳しい受験勉強をひとりっきりで持続することは容易なことではありません。そのようなとき、自分の周りに「受験をしているという厳しい雰囲気」があれば、それに刺激されて勉強や資格・検定取得に身が入ることがあり

ます。このことから考えると、学校の雰囲気やホームルームの雰囲気は、ひとりひとりの学習を進めるうえでは、大きな影響力があるわけです。

だから、「受験を真剣にとらえているホームルーム」は、学習の雰囲気に真剣さが漂っていますし、そのホームルームで生活しているひとりひとは、自分の進路に向かって自然に努力するようになっていきます。また、そのような雰囲気のあるホームルームは、授業を進路決定のための大切な準備とすることができるので、効果的な学習が約束されることになります。スランプに陥ったときも、自分の周りで将来の目標達成を夢見てがんばっている友だちに刺激され、お互い教えられ学び合うことになります。

反対に、そのような雰囲気のないホームルームでは、一人一人がバラバラで、その場限りの対処しかできませんから、進路の準備もだんだん遅れていってしまいます。スランプに陥ったときもお互い無関心なので、ひとりで悩む寂しい受験生活を送ることになります。

人は自分ひとりで何かを行うときには、挫折したり弱気になったりする場合がありますが、お互いが「やる気」を持っている集団では、ひとりひとりを良い方向へ向かわせる力が現れます。社会は暗いニュースが多く飛び交い、厳しい疾風が吹いています。2 年 5 組、6 組が、全員で盛り上げていける雰囲気のホームルームになってほしいものです。



▲冬期講習に意欲的に取り組む 2 年生



南極では風邪を引かない!?

南極では風邪を引かないと言われていますが、本当でしょうか？ ある実験によると、風邪のウイルスの存在しない部屋ならば、温度を下げいくら寒くても、濡れた服を着ていても、さらに濡れたまま寝ていても風邪は引かないそうです。（注意！ よい子のみなさんは自分の体で実験をしないでください。）ということは、南極に風邪のウイルスを持ち込まない限り、誰でも風邪にかからないということになるようです。このことから、風邪にかからない方法は、ウイルスに接触しなければよいということになります。

人混みの中に入ったときは、風邪のウイルスを持っている人と接触している可能性があります。そのようなときには、手洗い、うがい、手指消毒などをしてウイルスを撃退してしまうとよいということになります。1 月、2 月は 1 年で最も寒い時期で、この時期にインフルエンザが流行します。手洗い、うがい、手指消毒を習慣化するようにしましょう。また、乾布摩擦をしたり、寒さに負けずに外で運動をしたりして、寒さに強い皮膚を作ること予防のひとつです。十分な睡眠や栄養も効果的です。寒さに強い体を作って、この冬、風邪やインフルエンザなどにかからないような工夫をしてみてください。

担任・副担任リレー・エッセイ 毎月、担任・副担任が担当するコーナーです。

志賀コラム vol.1

志賀 翔

今年もクリスマスの時期がやってきました。クリスマスは英語で「Christmas」と書きますが、これは「Christ（キリスト）」と「mass（ミサというキリスト教の祭礼）」に分解できるそうです。つまり「Christmas」はキリストの生誕祭という意味です。実際には、イエス・キリストが生まれた日は正確に記載されたものはないようです。そのため、イエス・キリストの誕生日を祝うものではなく、「キリストが生まれてきたことを祝う」のが本来の意味のようです。

日本のクリスマスは恋人と過ごし、プレゼントやイルミネーションなどを楽しむのが多いようですが、海外では家族と過ごし、家族団らんを大切にするのが一般的です。教会のイベントに参加したのちに家族で食事やパーティをするようです。

アメリカの修学旅行に行ってから、1か月が過ぎました。アメリカの人たちは、多くの人がフレンドリーで、私たち日本人に優しく接してくれました。そんな優しさは家族を大切にする文化が根底にあるからかもしれませんね。日本のクリスマスも海外の風習をまねて、いつもと違った形で、家族のことを大切にするクリスマスもいいかもしれませんね。

（2年6組担任・数学科教諭）



本多コラム vol.6～ルールを守りましょう～

本多 康朗

夏季休業を終えてから12月までの間、皆さんが乗っている自転車と車が接触する事故をよく耳にしました。交通事故は毎日どこかで起こっているものですが、しっかりと交通ルールを守っていれば防げるものも多々あるかもしれません。

いかがでしょうか？ 完璧にルールを守ることができていますか？ 私はルールを守るように気を付けています。皆さんも車の運転をするようになってくると分かってくと思いますが、車から見ると本当に自転車は怖い存在です。特に、何列にも横に広がっている人たちや、突然動き出す人、さまざまな危険な要素が、車に乗っていると見えてきます。ただ、これを見ていると、高校生のとき、自分は自転車をきちんと乗っていたのかな、と反省することも多々あります。逆に車を運転していると、私自身が歩行者になるときや自転車に乗るときに気を付けようという意識につながります。いろいろな面から見てみると、見えてくるものがたくさんありますね。

今、交通ルールという名前でやさしく記述していますが、本来は「道路交通法」などの法律です。少し強い言い方をしますが、みなさんはこの交通ルールを守れていないということは法律に違反していることになります。法律を守っていないということになるのです。「ちょっとくらいいいや。」という甘さが命取りになります。少しでもダメなものはダメなのです。

私はこのルールを守るという点に関して、いろいろな話を聞いている中で、思ったことがあります。それは「法律や学校の規則が守れない人は、スポーツのルールなんて守れるわけないし、ましてや大切な人を守れない」ということです。「守る」ということはすべてにつながっています。

突然ですが、みなさんは将来、それぞれの家庭を築いていくことと思います。では、自分にとって大切な人は誰でしょう。考えてみてください。男性の場合は、「一番愛する人」「奥さん」「家族」になるでしょうか。古典的な考えで申し訳ないのですが、自分の妻を守れない人はよろしくないと思いますよ。女性の方、そこをしっかりと見極めてくださいね。女性の方は「守られているから……」と思う方もいると思います。しかし、女性しか守れないものがあります。それは「お腹の中の赤ちゃん」です。人間は生物学上、女性が妊娠の能力を持っています。男性は持っていません。つまり、お腹の中は女性しか守れないのです。外の衝撃からは男性も守ることができますが、中からは女性しか守れません。私が見ていると、法律を守れる人はほとんどの人が大切な人も守れています。将来の大切な人を守るため、身近なことから始めてみましょう。（2学年副担任・理科教諭）

1月の予定（2月中旬まで）



8（水）	全校集会・一斉指導・入試準備 ※8日11:30～11:00（金）は学校敷地内立入禁止。
9（木）	本校一般入試（生徒は自宅学習）
10（金）	入試処理日（生徒は自宅学習）
11（土）	サタスタ（①国語 ②英語）
14（火）	通常授業再開 ※進研模試過去問《国語》宿題提出期限
17（金）～ 18（土）	進研模擬試験（国語・英語・数学・地歴・公民・理科）《記述模試》（全員受験） ※17（金）は放課後実施。
18（土）～ 19（日）	大学入試センター試験（3年生・福島大学にて） ※文理・特進の2年生の大学進学希望者は全員、1年後、受験します。
21（火）	チャレンジセンター ※今年のセンター試験に挑戦し、現時点での到達度を確認めす。
25（土）	サタスタ（①理科 ②理科）
26（日）	実用英語技能検定一次試験（申込者）
2/1（土）	サタスタ（①社会 ②社会）
7（金） ～8（土）	進研センター試験早期対策模擬試験《マーク模試》（全員受験） （国語・英語・数学・地歴・公民・理科） ※7（金）は放課後実施。
13（木）	第2回小論文模擬試験（6校時・全員受験）

保護者の皆様へ

新年明けましておめでとうございます。先月はご多忙の中、三者面談においでいただきましてありがとうございました。お子さんの考えや、保護者の方のご意向などを聞くことができ、有意義な話し合いの機会を持つことができました。また、各クラスともこれを機に学習に対する意欲が芽生えてきたお子さんもいます。

さて、今日は冬休み明けの最初の登校日でした。ひとりひとり新年の抱負を胸に抱いて登校したようです。いよいよ大学の一般入試まで約1年となり、受験生として本格的なスタートをきる時期になりました。目の前にある、大学や専門学校についてもしっかりと見て考えることが必要ですが、その学校を卒業した後のことも視野に入れた進路選択を考えさせていきたいと考えております。

今、存在する職業の多くが10年後、20年後にはAIやロボットに代替されてなくなってしまうと言われています。新しい時代に対応していくことができる人材が社会では求められています。そのため、学生時代にさまざまな能力を身につけていかなければなりません。今の若い世代の人たちは、新しい社会を生き抜くために険しい道を歩んでいかなければなりません。高校時代にさまざまなものに挑戦して自分を磨いていけるように、応援していきたいと考えております。ご家庭でも人生の先輩としてお子さんにアドバイスしていただければと思います。